

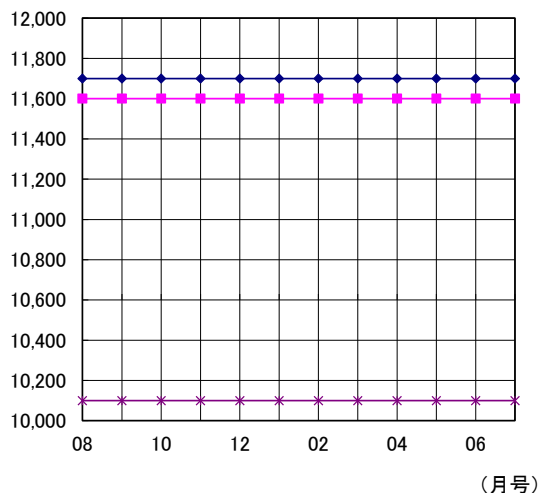
# 5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

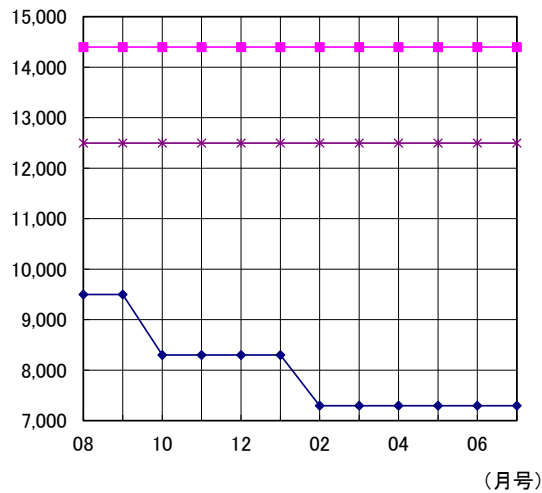
品目	4～6月期の状況と現況	先行き
セメント	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】第1四半期の需要は、前年同期比で横ばいに推移。新潟地区においては、軟調に推移していた生コン価格が底を打ったと見る向きも多いが、大口需要者である生コンメーカー側の値上げ受け入れへの抵抗はいまだに強く、交渉にはまだ時間がかかる見通し。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】セメントメーカー側は、中断していた大口需要者である生コンメーカーとの交渉を4月から再開した。一部の生コンメーカーでは値上げを受容する動きも見られるが、大勢は骨材の値上げと時期が重なっていることを理由に難色を示している。先行き、横ばいでしよう。</p> <p>【石川県】セメントメーカー側は、昨年の値上げが不発に終わったことで、仕切り直して価格交渉を本格化させたい意向を示している。これまでは、大口需要者である生コンメーカー側が強い抵抗を見せていたものの、セメントメーカーも採算が厳しい状況を需要者側に説明し、値上げへの理解を求めていく構え。目先、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(パ)物)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
生コンクリート	<p>新潟地区 200 円/m<sup>3</sup>、小松地区 500 円/m<sup>3</sup> 上昇</p> <p>【新潟県】新潟地区への主な供給者である新潟生コン協組では、数量志向から価格重視へと方針を転換し、2019年4月契約分より21-18-25でm<sup>3</sup>当たり12,000円の販売価格を打ち出している。こうした中、一部の非組合員に現状の価格水準ではプラント経営が成り立たないとの共通認識もあり、需要者への極端な安値の提示が減少。販売側の販売姿勢に変化も見え始め、6月に21-18-25でm<sup>3</sup>当たり8,000円と200円の上昇を示した。同協組では売り腰を堅持する意向で、先行き、強含みで推移しよう。</p> <p>【富山県】富山地区の生コン工場では、セメント・骨材等の原材料の値上げを受容する動きも見られ、製造コストの増加から製品価格への転嫁を模索している。しかし、非組合員との価格競争が避けられない中、価格は現行維持が精いっぱい。目先、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】小松地区への主な供給者である南加賀生コン協組では、昨年度の原材料骨材価格の上昇に加え、慢性的な車両不足を補うため県外から手配していることで輸送コストも大幅に上昇。こうした背景から、同協組2019年3月出荷分よりm<sup>3</sup>当たり500円の値上げを打ち出した。需要者は、当初出荷ベースでの値上げに対し抵抗を示していたが、協組側の強い販売姿勢の堅持により、価格は6月にm<sup>3</sup>当たり500円上昇した。先行き、現行価格水準を横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(21-8-25)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
骨材	<p>金沢・小松 400 円/m<sup>3</sup>、白山 200 円/m<sup>3</sup> 上昇</p> <p>【新潟県】新潟地区への主な供給者である阿賀野川骨材協同組合では、2019年4月からm<sup>3</sup>当たり一律300円の値上げを唱えている。しかし、コンクリート用骨材については生コンクリート市況の低迷から需要者の抵抗は強く、当面、現行価格を横ばい推移する見通し。一方、再生路盤材は、実需以上のコンクリート塊の発生から在庫は潤沢。依然、交渉物件が少なく市況に動意は見られない。当面、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】富山県骨材販売組合では、昨年度から全製品の値上げを打ち出している。富山地区では、在庫減少に伴い需給がタイトな状況が続いていることもあり、強気の姿勢で需要者側との交渉を進めている。当初、難色を示していた生コンメーカー側も、安定供給を優先し値上げを受容する動きもみられる。先行き、強含みで推移しよう。</p> <p>【石川県】石川県山砕石協組は、運搬コスト増を理由に昨年9月からm<sup>3</sup>当たり400円の値上げを唱えている。新幹線工事向けに好調な荷動きが続く中、組合員が足並みを揃え需要者と交渉に臨んだ結果、6月に金沢・小松地区のC-40がm<sup>3</sup>当たり400円、白山地区でm<sup>3</sup>当たり200円の上伸を示した。販売側は、当面、現行価格を維持していく意向で、先行き、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(C-40)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>

【価格推移】

セメント(普通ポルランド パ) (円/t)



生コン(21-8-25) (円/m<sup>3</sup>)



品目	4～6 月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p style="text-align: center;">先行き、弱含み</p> <p>【新潟県】荷動きは精彩を欠く展開が続いており、4月～6月の価格は横ばい。鉄屑相場が軟調に推移していることから、需要者の指し値は厳しさを増している。メーカーは採算確保を優先し、売り腰を引き締めているが、流通側では数量確保を目的とした安値販売が散見される。先行き、弱含みで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県・石川県】需要の盛り上がりや不足状況が続く中、メーカーは副資材費、運搬コスト上昇を理由に売り腰を強めている。販売側もメーカーの動きに追随し、需要者の指し値には応じない構え。しかし、鉄屑相場は海外市況の下落や国内需要の低迷により軟調に推移しており、その影響から需要者側の値引き要求は強まっていくと見る向きが多い。先行き、弱含みに推移しよう。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
コンクリート二次製品	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】前年度からの繰り越し工事も少なく、荷動きは鈍い。圃場整備の排水工事でフリーム等の需要が見込まれるものの、目ぼしい新設の道路工事が乏しいことから、道路用製品の需要回復は期待が薄い状況。メーカー側では、原材料の値上げ唱えを受け、製品価格の引き上げを打ち出したい意向はあるものの、先行き需要の不透明感が強いことから需要者の反発が予想される。当面、現行価格水準を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】メーカー側は、製造コストの増加が想定を超え、昨年度の値上げだけでは採算の改善につながらないとして、4月以降、再び製品価格の引き上げを打ち出し、需要者側に理解を求めている。需要者側は、2年続けての値上げに対して強い抵抗を示しており、目先、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】上期発注の公共物件が出揃いつつあることで、メーカーは需要者側と値上げ交渉を本格化させたい意向を示している。昨年度から材料費、輸送費が高止まりに推移していることで、メーカー各社とも採算割れの危機感を強めている。一方で、需要が伸びない中、メーカー側が売り腰を強められるか、今後の価格交渉が注目される。目先、横ばい推移。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
アスファルト合材	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】主原料であるスト・アス価格が6月に上昇し、合材メーカーではこれまでの上昇分を含め合材価格に転嫁する意向を示している。しかし、需要が低迷していることから需要者の購買姿勢は依然として厳しく、合材メーカーでは売り腰を強められないでいる。目先、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】4月以降、高速道路関連工事が下支えとなっているものの、他に目ぼしい物件がなく荷動きは低調。需要回復の期待が薄い中、合材メーカー側では、原材料や輸送費が強基調に推移していることを受けて、採算悪化を回避すべく製品価格の値上げを模索している。しかし、需要者の反発も予想され、値上げ表明に踏み切れていない。先行き、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】主原料であるスト・アス価格が6月に上昇したことから、合材メーカー各社は値上げを検討している。しかし、足元の原油相場は一進一退の展開となっていることに加え、需要も高速道路向けを除くと、総じて精彩を欠いていることから、合材価格の改定幅を明確に打ち出せないメーカーが多い。先行き、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>

【価格推移】

